

[hitaru creation

Creative Opera Mix Vol.3

MASTERPIECES



札幌文化芸術劇場
hitaru
SAPPORO CULTURAL ARTS THEATER

主催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団) 後援：札幌市、札幌市教育委員会
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会、一般財団法人地域創造

一般財団法人 地域創造
Japan Foundation for Regional Art-Activities



ご挨拶

本日は、ご来場いただき誠にありがとうございます。当事業は、この劇場で鑑賞するオペラ芸術の魅力をより多くの方に知っていただきたいという願いのもと、一昨年からスタートし、クリエイティブスタジオを会場に過去2年間実施し、いずれも好評を博しVol.2 LOVE & TRAGEDY公演では、3公演中2公演で、来場者満足度100%を記録することができました。

オペラ出演者に限らず、才能溢れる札幌のアーティストやスタッフの力を集結させ、札幌独自の文化芸術として、「オペラ×ダンス×DJ」というコンセプトに基づき、いままでに無かった全く新しい舞台芸術を創造してきましたが、おかげ様で、このたび2,302席を有する札幌文化芸術劇場 hitaru 開催の運びとなりました。

3年間の創作活動の集大成ともいべき本公演は、“MASTER PIECES”と題して、オペラの名曲の数々を多様なアレンジとダンスでお贈りする究極のパフォーミングアーツです。

参加するアーティストたちが、異なるアートに寄り添い、高めてきた知見と精度は、回数を重ねるごとに高まっておりますので、本公演を是非お楽しみいただければと思います。

そして、当公演が、オペラ作品やコラボしたアートそれぞれの魅力を知るきっかけとなり、また当劇場にご来場いただくことを願っております。

hitaruのクリエイション事業では、次年度以降も、さらに進化したパフォーミングアーツを創造したいと考えておりますので、今後ともご注目いただければ幸いです。

札幌市民交流プラザ／劇場事業課長 チーフプロデューサー
高橋 秀典

STAFF

- ・編曲／ 福由樹子、DJ TAMA a.k.a. SPC FINEST
- ・振付／ SHOKO、高橋 学、西野 武、神田広典、YUKA (Dance Studio mind)
WAKU (Fe. Dance Studio)
鈴木明倫 (DANCE STUDIO LoRe)
- ・振付監修／ 宏瀬賢二

- ・企画プロデュース／ 高橋秀典 (札幌市民交流プラザ劇場事業課長 チーフプロデューサー)
- ・舞台監督／ 齋藤 玲 (札幌市民交流プラザ舞台技術課)
- ・照明・映像／ 相馬寛之 (北海道ステージアートアライアンス)
- ・音響／ 齋藤 力 (北海道ステージアートアライアンス)
- ・製作／ 札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)
- ・制作／ 安澤 洋、上鹿渡大希、橋本涼平、佐々木悠斗 (札幌市民交流プラザ劇場事業課)
- ・宣伝美術／ 若林瑞沙 (studio COPAIN)
- ・宣伝映像／ 北海道テレビ放送
吉野志織、西崎圭佑 (MARBLE ART VISION)
札幌市民交流プラザ劇場事業課
- ・プログラム作成協力(ストーリー紹介)／ 千葉 潤 (札幌大谷大学学長・教授)
- ・映像撮影／ 吉野志織、西崎圭佑 (MARBLE ART VISION)
- ・スチール／ 定久圭吾 (doppietta)
- ・制作録音協力／ 鶴羽宏一 (ヒットスタジオ)



0. オープニングアクト


1. ワーグナー『ローエングリン』より 婚礼の合唱

80's Pop Mix

Treulich geführt, "Lohengrin", Wilhelm Richard Wagner

伝説の騎士と姫。美しく悲しい物語

多くの日本人にとっては幸福な愛を祝福するハッピーソング。しかし、一方では「悲劇的結末を予感させる性質」を持つ音楽ともされる。その通り、エルザとローエングリンの婚礼によって物語は幸福感のピークを迎えるが、直後、急激に悲劇性を強めていく。

 中世の「聖杯の騎士」伝説に基づく神話オペラ。行方不明の弟を殺害した疑いをかけられた公女エルザは、白鳥の騎士ローエングリンに窮地を救われる。「決して名前を訊ねてはならない」という約束で二人は結ばれるが、不安を募らせたエルザは遂に名前を訊ねてしまい…。


2. レハール『メリー・ウィドウ』より 唇は語らずとも

Latin Mix

Lippen Schweigen, "Die lustige Witwe", Franz Lehár

好きだからこそ、張ってしまう意地。ぜひ手拍子でご参加!

すべての誤解が解け、ハンナとダニロが愛を確かめ合う二重唱のワルツ。作品のクライマックスに歌唱されるこの曲は「メリー・ウィドウ・ワルツ」とも呼ばれ、美しい旋律で甘美なメロディの宝庫である「メリー・ウィドウ」のなかでも特に人気がある。

 1905年、架空の国「ポンテヴェドロ公国」のバリ大使館が舞台。莫大な財産を相続した未亡人ハンナと、元恋人ダニロの恋模様が描かれる喜劇的なオペレッタ。ハンナが外国人と再婚すればその財産も国外に流出してしまうことから、ポンテヴェドロ公国のツェータ男爵は何とかハンナを自国の男と再婚させようと企む。大人どうしの恋の駆け引きに政治が絡み合ったドタバタの末、結局、ハンナは元の恋人ダニロと縁を戻すことになる。


3. ビゼー『カルメン』より シストルムの甲高い響きと(ジプシーの歌)

Rock Mix

Chanson bohème "Les tringles des sistres tintaient", "Carmen", Georges Bizet

煽情的なメロディが、心に怪しい火を灯す…!?

「ジプシーの歌」として作品の中でも人気の高いエキゾチックな一曲。オペラ本編では、酒場にてカルメンが歌いながら踊り、カルメンの妹分たちがその歌唱に加わる。スピード感のあるこの曲は終盤に向けてテンポを増し、盛り上がりは頂点に達する。

 舞台はスペインのセビリア。誠実な男ドン・ホセは、婚約者がいるのに関わらず、ハバネラを口ずさむ魔性の女カルメンに心を奪われ、やがて社会から脱落していく。しかし、カルメンを惹きつける人気闘牛士エスカミーリョの登場により、三角関係は急展開し、カルメンに拒絶されたホセは、ナイフを取り出し…。


4. レオンカヴァッロ『道化師』より 衣装をつける

Mixture Rock Mix

Vesti la giubba, "I Pagliacci", Ruggero Leoncavallo

愛と憎しみが男を駆り立て、狂気の沙汰へと向かわせる

「道化師」の中で最大の聴きどころであり、単独でも多くの場で演奏されるアリア。偽らざる妻への愛と、それゆえの狂おしい悲しみ・怒り。これらの感情を押し殺し、衣装をつけ、化粧をして仕事に向かう男。リアリズム溢れる激情の極致を表現する。


 ヴェリズモ・オペラの名作。旅芸人の一座で道化を演じる座長のカニオは、自分の若く美しい妻が浮気をしていることを知る。それでも、道化の衣装を身にまとい、皆を笑わせなくてはならない。やがて開幕した道化劇は、まるで彼自身を取り巻く現実をなぞるよう展開し、現実と芝居の狭間で錯乱した座長は妻と不倫相手を刺し殺し、「喜劇は終わった」と叫ぶのだった。

5. プッチーニ『蝶々夫人』より ある晴れた日に

Jazz Mix

Un bel dì, vedremo, "Madama Butterfly", Giacomo Puccini

気高く生きる女性の物語。いつか来る、すべてが報われる日を信じて…ピンカートンとの仮初めの結婚後、アメリカに戻った彼の帰りを待ち続ける蝶々さんの悲痛なアリア。ピンカートンの帰りを信じてない女中スズキに対し、彼を信じ気丈にふるまう蝶々さん。愛、純粋さ、悲しさに溢れた歌唱で表現される。

 明治時代の長崎。アメリカの軍人ピンカートンは、日本人の少女「蝶々さん」を現地妻とするが、すぐに帰国してしまう。結婚を機にキリスト教に改宗した蝶々さんは親戚から縁を切られるが、ピンカートンとの間に生まれた子とともに、彼の帰りを待ちわびていた。しかしアメリカへ戻ったピンカートンは祖国の女性と結婚。「ある晴れた日に」、子どもを自国に連れ帰るため本妻を連れて長崎に戻ってくる。すべての真実を知った蝶々さんは、子どもをピンカートンに託し、自決する。


6. オッフェンバック『天国と地獄』より 序曲

Hiphop Mix

Overture, "Orphée aux Enfers", Jacques Offenbach

世にも奇妙なドタバタ喜劇。最後に笑うのは誰だ?

昔の某CMや運動会でも知られる定番曲。オペレッタの作品世界を象徴する、壮大でありながら軽快な曲調は唯一無二。不条理にも躁気味に煽り立てられる世界中、神や世論に翻弄される男の姿がイメージされる。

 愛する妻を失ったオルフェが、黄泉の国に赴き、音楽の力で妻を取り戻そうとする格調高いギリシャ神話をパロディ化。享楽生活に溺れ、建て前と本音を使い分ける19世紀パリの富裕層を痛烈に皮肉ったオペレッタの傑作。夫婦の仲はとくに冷え切っていたが、世論に非難されるがまま、オルフェは妻を救うべく、しぶしぶあの世に向かう。一方、地獄では天国の生活に飽きた神々が地獄のギャロップに踊り狂うのだった。

休憩 20分

用語解説

序曲

劇の開始に先立ち、あらすじや雰囲気を与える器楽曲。主要場面の音楽で構成されることが多い。

グランド・オペラ

直訳は「大きなオペラ」。大規模な舞台装置、バレエ、合唱等を含み、壮大な物語を展開するオペラの様式。

アリア

抒情的・旋律的な独唱曲。主要な登場人物の感情が高まった時に歌われることが多く、聴きどころと言える。

コロラトゥーラ

歌曲やオペラにおいて速いフレーズの中に華麗な装飾がほどこされた旋律のこと。

アリオーン

「アリア風の」の意。独唱曲だが、アリア固有の形式を持たないものや、より小規模なものを指す。

タイトル・ロール

オペラの題名になっている役のこと。リナルド、アイダ、セルセ、ローエングリン、カルメン、トスカ等々。

ヴェリズモ・オペラ

身近な出来事を題材にした、現実主義的で演劇的なオペラの様式。

オペレッタ

「喜劇劇」の意。歌だけでなくセリフや踊りを含み、軽妙でコミカルな内容を持つオペラの様式。

1. モーツァルト『魔笛』より 復讐の心は地獄のようにわが胸に燃え Metal Mix

Der Hölle Rache kocht in meinem Herzen, "Die Zauberflöte", Wolfgang Amadeus Mozart

永遠に勘当し! 永遠に見捨て! 永遠に粉碎する!

夜の女王が、娘に宿敵への恨みを晴らすよう迫る場面で歌われるアリア。燃え上がる復讐心が、超絶技巧を要するコロラトゥーラで歌われる。—お前がザラストロに死の苦しみを与えないならば、お前との絆を永遠に粉碎する。(歌詞より)

2. ガーシュウィン『ポーギーとベス』より サマータイム Club Jazz Mix

Summer time, "Porgy and Bess", George Gershwin

度重なる絶望、人の愚かしさ。 唯一の希望は、人との絆

生まれたばかりの子供に歌いかける子守唄として歌われる。同様のメロディは作品のなかで複数回使用される。悲劇的な事件の後に演奏されるこの曲は、前を向いて強く生きていくことをテーマとした「ポーギーとベス」の代表的な一曲。

3. ロッシーニ『ウィリアム・テル』より 序曲 Base Mix

Overture, "Guillaume Tell", Gioacchino Rossini

弓矢の名手ウィリアム・テルが立ち上がり、歓喜のメロディが鳴り響く!

主人公ウィリアム・テルが頭上のリンゴを射抜くシーンで知られる本作。有名なメロディでテレビや映画、また運動会の音楽としても知られる。今回のアレンジでは冒頭に雰囲気異なるフレーズを入れ、コンテンポラリーダンスとコラボレーションする。

4. プッチーニ『トゥーランドット』より 誰も寝てはならぬ Healing Mix

Nessun dorma!, "Turandot", Giacomo Puccini

愛する人の心を得るまでは、絶対にあきらめない

北京の夜明け前にカラフが歌うアリア。トゥーランドットに対し自分の名前を夜明けまでに当てることができれば死んでやろうと言うカラフ。トゥーランドットは、カラフの名が判明するまで国民に眠ることを禁止する。「誰も寝てはならぬ。姫、あなたも」と歌い始め、曲の最後に「愛は必ず勝つ!」と高らかに歌う。

5. ロッシーニ『セビアの理髪師』より わたしは町の何でも屋 Hard Rock Mix

Largo al factotum città, "Il barbiere di Siviglia", Gioacchino Rossini

彼に頼めばうまくいく! 町のヒーロー、ここに登場

床屋のフィガロが「町の何でも屋」で皆から大人気だと早口で自画自賛する歌。軽快なテンポでバリトン歌手の魅力を引き出すこのアリアは、機知に富んだ、人好きで楽天的なキャラクターにふさわしい。「フィガロがいなきゃセビアの娘はみな嫁に行けるものか」と歌い、「恋の手引き」が得意だと豪語する。

6. ワーグナー『ワルキューレ』より ワルキューレの騎行 Club Mix

Walkürenritt, "Die Walküre", Richard Wagner

天馬にまたがる美しい戦士たち。 ワーグナー屈指の名曲

戦死した勇者の魂をヴァルハラ宮殿に運ぶ戦乙女たちが、戦場で魂を集めたあと、岩山に集っているシーンで演奏される。フランシス・フォード・コッポラ監督の映画『地獄の黙示録』劇中では、ヘリに搭載したスピーカーから同曲を高らかに流し、ベトナムの村落を爆撃するシーンで使われる。

7. プッチーニ『トスカ』より 歌に生き、恋に生き Classic Mix

Vissi d'arte, vissi d'amore, "Tosca", Giacomo Puccini

平穏な生活はある日突然壊れ、歌姫は神に訴える

「恋人の処刑を免れたければ自分の女になれ」と警視總監スカルピアに迫られ、絶望の淵でタイトル・ロールのトスカが歌うアリア。—歌に生き、愛に生き、真摯な信仰を重ねてきた私に、神さま、なぜこのような仕打ちをなさるのですか。(歌詞より)

8. モーツァルト『フィガロの結婚』より 序曲 HipHop / Rock Mix

Overture, "Le nozze di Figaro", Wolfgang Amadeus Mozart

狂おしいほどに行き交う愛 (by JAZADOCUMENT)

華やかな曲調と軽快なテンポのこの曲は、モーツァルトのオペラ序曲の中でも人気が高く、コンサートでも単独で演奏されることが多い。音階を上り降りする旋律は、結婚に向けての期待や喜びが表現される。ヒップホップアレンジの冒頭にはラップが挿入され、登場人物の心情が語られる。

9. メドレー

📖 原作は東洋のお伽噺。夜の女王は宿敵ザラストロによって娘パミーナを奪われ、王子タミーノに奪還を命じる。パミーナの絵姿の美しさに一目で心を奪われたタミーノは魔法の笛を携え、「鳥刺し」のパバゲーノと共に困難を乗り越えていく。パミーナもまたタミーノに恋し、力を合わせて試練に挑んでいく。

📖 1930年代アメリカ南部。アフリカ系黒人たちの厳しい生活を赤裸々に描く民衆的オペラ。足の不自由なポーギーが麻薬中毒のベスを悪漢から守ったことにより、二人は恋に落ちる。しかし、ポーギーはベスを奪いに戻ってきた悪漢を殺したことで収監。その間にベスは麻薬販売者に言葉巧みに誘われ、姿を消す。服役を終えたポーギーはベスを連れ戻すべく、ニューヨークへ旅立つ。

📖 祖国スイスがオーストリアの支配下にあることを嘆くテルは、祖国独立のためアルノルドに発起を持ち掛ける。アルノルドは敵国のマティルドと密かに愛し合っているが、祖国のために戦うことを決心。テルはオーストリアに敬意を払わなかった罪で投獄されるが、弓矢の名手である彼はリンゴを弓矢で射貫き窮地を脱する。敵国の総督を倒し、アルノルドの活躍もあり、スイスは念願の独立を果たす。

📖 古代中国の北京が舞台。トゥーランドット姫に求婚した男は3つの謎を解ければ結婚、できなければ処刑されるという。王子カラフは、女奴隷リュウの引き留めも跳ね除けてトゥーランドットに求婚し、見事その謎を解くが、依然彼を拒否するトゥーランドットに、明日の朝までに自分の名を当てることができれば死んでやろうという。カラフへの愛から名前を明かさずに自害したリュウを見て、トゥーランドットの冷たい心は解け、「彼の名は、愛!」と宣言する。

📖 スペイン・セビアが舞台。美女ロジーナと彼女に一目惚れをした伯爵を中心とするドタバタ喜劇。ロジーナの後見人である医師バルトロは彼女の財産目当てに結婚をもくろんでいる。そこで伯爵は床屋のフィガロに助けを求め、ロジーナの略奪を計画するも失敗ばかり。最後はフィガロが機転を利かせ、伯爵とロジーナはめでたく結婚する。

📖 神々が君臨し、魔物たちや人間を支配する神話の世界。天空を駆ける軍団ワルキューレの女神ブリュンヒルデは、欲深い父神に追われる腹違いの兄妹を助けたために、罰として永遠の眠りにつく。

📖 互いに愛し合う芸術家の恋人たちが、情欲にまみれた権力者の罠によって、たった1日の間に非業の死を遂げる壮絶な物語。歌姫トスカの体を狙う警視總監は、見せしめに恋人カヴァラドッシを拷問するが、逆にトスカに殺害される。しかし警視總監の計略は、その死後も二人を残酷な運命へと追いやるのだった。

📖 「セビアの理髪師」の続きとなる物語。フィガロとスザンナは今日結婚する予定だが、伯爵は伯爵夫人ロジーナの目を盗んでスザンナを奪おうと企む。その悪だくみを知ったフィガロは彼を懲らしめる計画を練るが、伯爵の取り巻きたちの邪魔でうまくいかない。最後はスザンナと伯爵夫人の計略で伯爵の悪事は暴かれ、ロジーナもすべてを許しハッピーエンドを迎える。



Yukiko Fuku Piano

編曲/ピアノ

福由樹子

札幌市在住。ピアニスト、作編曲家。北海道教育大学札幌校に入学し、ピアノ・声楽・作曲等の勉強をする傍ら、バンド活動を始める。現在道内・関東にて、様々な形態でセッション・レコーディング・サポートなど、ジャンルを超えてよい音楽を創り演奏することをモットーに幅広く活動。CM音楽、アーティストの楽曲制作・アレンジやサウンドプロデュース、自身のソロ、ヴァイオリンとコントラバスとのトリオBill Ringsなどの活動も精力的に行う。札幌放送芸術&ミュージック・ダンス専門学校キーボード科講師。2019年3月、初のピアノソロアルバムをリリース。



DJ

編曲/DJ

DJ TAMA a.k.a. SPC FINEST

“DJ”という職業、業(ごう)を通して、札幌を起点にあらゆる人種や音楽ファンをコネクトする「プロ中のプロ」。2009年より海外ツアーを毎年行いこれまでに、タイ、アメリカ合衆国、韓国、ベトナム、ミャンマー、台湾、香港、中国とアジア圏を中心にDJツアーを成功させ、日本国内のみならずワールドワイドに活躍している。またウインターリゾートNISEKOで毎週行われる彼のパーティーでは、世界中から来たお客さんを熱狂させ続けている。テーマパーク型ダンスクラブ KING XMHUのResident DJとしても活躍している。



Saya Kawashima Soprano

ソプラノ

川島沙耶

北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コース声楽専攻卒業、同大学院修了。修了時に特別学生表彰。札幌市民芸術祭大賞を受賞。ハイメスコンクールにて第2位、中田喜直記念コンクールにて大賞受賞。清水かつら記念日本歌曲コンクール入賞。全日本学生音楽コンクール北海道大会にて第1位、全国大会に出場し第2位を受賞。パナソニック杯第66回毎日甲子園ボウルにて国歌独唱を務めた。PMF2011ではPMFチェンバープレイヤーズとして公演に参加。2014年に渡米、ポータランドにてリンダブライス氏のもとで研鑽を積む。帰国後は道内外を中心な演奏活動を展開し、2018年10月に行われた札幌文化芸術劇場 hitaruのこけら落とし公演、歌劇「アイダ」の地元合唱団として抜擢された。



Takahiro Shimotsuka Bariton

バリトン

下司 貴大

北海道教育大学岩見沢校音楽コース声楽科を卒業。特別表彰を受ける。その後同大学の大学院を修了。PMF2010においてシンガーズに選出され、F・ルイジ指揮のプッチーニの「ラ・ボエーム」マルチェロ役で出演。札幌市民芸術祭「新人音楽会」の札幌市民芸術祭大賞を受賞、道銀芸術文化奨励賞を受賞など多数タイトルを獲得。2014年秋から渡伊し、オジモ・オペラ・アカデミーで研鑽を積む。ディプロマを取得後、2016年夏にローマ歌劇場のロッシーニの「セビリアの理髪師」の主役フィガロでデビューし、本場イタリアで活動の場を広げる。帰国後は、声楽ユニット「歌劇弾」として“オペラを身近なものに!”を合言葉に道内各地で歌の魅力伝える活動を行っている。



Dance

振付/ダンス

SHOKO

ダンススタジオマインド(舞人)所属。インストラクターとして札幌を中心に活動。自主公演他、道内で行われる舞台、イベントに多数振付、出演。アメリカ留学中には舞台に選出され出演。様々なアーティストのコンサート、ライブに振付・出演。中国黒龍江省友好親善交流事業に参加。道内各地でワークショップを行う。CM出演、ワークショップ・イベントオーガナイズを務める。その他、CLUB SHOWCASE等にGUEST出演や、コンテスト・バトルでJUDGEを務めるなど、アンダーグラウンドからオーバグラウンドまで様々なシーンで活躍。



Akinori Suzuki Dance

振付/ダンス

鈴木 明倫

DANCE STUDIO LoRe主宰。北海道教育大学岩見沢校芸術課程卒業。近年では東宝ミュージカル「エリザベト」全国ツアーにトートダンサーとして225回の公演に出演。また、韓国や香港のフェスティバルに招聘され作品の発表やWSを行う。現在はスタジオ経営の他、龍谷学園高校でのダンス授業指導、アクターズスクール特別講師、福祉施設でのレッスンなど指導者としても幅広く活動中。北海道ダンスプロジェクト(HDP)正会員。



Rap

Rap

JAZADOCUMENT

札幌を拠点に活動する1989年生まれのビートメイカー。サンプリング主体のビートに定評があり、過去400曲以上のビートを全国のアーティストに提供。今も全国から提供依頼が相次いでいる。自身が所属する札幌のクルー「Refugeecamp」ではMCとしても活動中。アパレルブランド「DIAL」のスタッフも務める。2014年冬にはDJ NOBU a.k.a. BOMBRUSH!の誘いにより、JASHWON, Lostface等が所属する日本最高峰のプロデューサーチーム「BCDMG」に加入を果たす。2017年に映像制作を始め、2018年にソニーイメージングプロサポート会員となる。全国各地のアーティストのミュージックビデオ制作も務めている。

Dance Studio mind (舞人)

1980年設立。札幌中心部に本部を置き20名のインストラクターが道内26か所でレッスン開講。イベント、コンテスト、ワークショップ、国際親善交流事業参加などダンス普及のため多彩な活動をおこなっている。

Fe. Dance studio

主宰、西野哲也。南平岸を拠点とし多彩なダンスジャンルの講師陣が集う。ダンス未経験者からプロダンサー志望者まで幅広く対応している。

DANCE STUDIO LoRe

地下鉄南北線中島公園駅すぐ近くにあるジャズやコンテンポラリーを軸としたダンススタジオ。最近ではミニシアターとしてダンスや音楽など様々な公演も行う。

Creative OPera Mix
Band

Gt. Toshikazu Orihara



ギター
折原 寿一

Ch. Masaki Saito




コントラバス
斎藤 正樹

Sax./Fl. Masato Jaiko



サクソス／フルート
蛇池 雅人

Gt. Shinji Takahashi




ギター
鷹橋 伸司

Vn. Shiho Takimoto



ヴァイオリン
瀧本 志保

Drs. Naoki Hosokawa



ドラム
細川 直来

Ba. Takahiro Morita



エレキベース
森田 貴裕

Dance

Dance Studio mind (舞人)

SHOKO 神田広典 村上圭 仙庭弘品

工藤香織 満藤弘 MASA MIKU 坪田みなみ YUKA TAIGA AKO TAKAYA 尾村琉希哉 酒井幹斗 佐々木空翔
原田楓冬 田中悠輝 赤坂柚和 阿部あみ 阿部あや 有賀結香 池田晴葉 伊藤未来 緒方凜 小川真智子 奥村優芽
川池菜々花 櫻井みづき 佐藤千咲 塩田菜央 壽福鈴 竹内舞 徳光真音 土橋結愛 飛鳥ゆう 林聖命 藤田楓
水野天音 弥勒院桃香 彌左海優 山田愛実

Fe. dance studio

WAKU SYUNA 遠藤理温 三浦彩 RYOMI 西野留以 高橋なな美 澤田桃花 齊藤凜

DANCE STUDIO LoRe

鈴木明倫 坂本菜々子 菅野朱音 原田美緒菜 池田悠乃 田中心優 中坪明日美 眞鍋和那

hitaru creation

本公演は、札幌文化芸術劇場 hitaruが札幌で活動する芸術家と連携し、セルフプロデュースする新規創造事業です。

hitaru オフィシャルスポンサー

ニトリ、アイングループ、イオン北海道、CO・OP共済、札幌田中病院、TAIYO GROUP、富士メガネ、札幌丸井三越、北央病院、北星学園大学、北海道コカ・コーラボトリング、北海道新聞社、ホテルモントレグループ、練成会グループ

あいプラン、MORIHICO、アミノアップ、伊藤組土建、岩倉建設、岩田地崎建設、大通り矯正歯科、札幌駅前通まちづくり会社、札幌大通まちづくり会社、札幌市交通局、札幌都市開発公社、サッポロホールディングス、ANAクラウンプラザホテル札幌、札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル、ジェイ・アール北海道バス、じょうてつ、ANA、大和証券、日本航空、福山倉庫、北海道エアシステム、北海道科学大学、北海道中央バス、北海道テレビ放送、丸彦渡辺建設、萬田記念財団、三井不動産リアルティ札幌、よつ葉乳業、Life&Ceremony、北海道ガス、會澤高庄コンクリート、旭イノベックス、SOC、遠藤興産、三精テクノロジー、大成建設、大丸札幌店、トーヨーエンジニアリング、日建設計、北海道グリーンメンテナンス、豊建商、氏家記念こどもクリニック、クリーンアップ、ホクリヨウ、北海道銀行、朝日新聞社、アムテック、アルシス、岩本・佐藤法律事務所、ウエス、エイト設計、片桐企業グループ、TAT札幌、弁護士法人北空、KDDIエボルバ、さくら総合会計、札幌商工会議所、札幌スパインクリニック、札幌デンタルケア、さっぽろ内科・リウマチ膠原病クリニック、ジャパンテクニカルソフトウェア、庄内こどもの歯科、蘇春堂形成外科、タイムズ24、みよしの、さっぽろ東急百貨店、内科丹田クリニック、博愛会、福佳泌尿器科クリニック、北海道熱供給公社、北海道マツダ、マウントアライブ、みたに胃腸内科、南一条脳内科、明治安田生命、元町皮ふ科、山二、吉田記念病院、六書堂、和らいふ、北海道放送、札幌テレビ放送、北海道文化放送、テレビ北海道